

元清澄山ツガ・ヒメコマツ遺伝資源希少個体群保護林 希少-82

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 千葉森林管理事務所
所在地	千葉県 君津市
面積	170.29ha
設定年	1990(H2)年
保護林の概要 (設定目的)	房総半島においては数少ない、モミ、ツガを主体とし、カシ類等の暖温帯性植物が混生する天然林である。また、林内にはヒメコマツやキョスミツバツツジ等が自生しており、植物分布および学術上貴重である。このため、モミ、ツガを主体とし、ヒメコマツ、キョスミツバツツジを含む群落の希少な個体群を保護するために設定した。



モニタリング調査概要

実施年度	2008年、2013年、2018年、2023年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ツガ・モミが生育する林分に計2か所の調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測および植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	調査プロット内でニホンジカの糞、食痕が確認されたほか、到達経路でのキョンの目視、鳴き声が確認されている。保護対象種への剥皮および後継樹や林床植生への影響に引き続き留意する必要がある。林床植生は前回調査時の状況をほぼ維持しているが、草本層でやや植被率の低下が見られる。次世代を担う低木および稚樹が特にツガでは確認できなかったことから、林床に生育する保護対象種の生存量、生育状況に留意する必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。